

## 平成29年度 第2回地区推進会議 会議録

1. 開催日時：平成29年8月29日（火） 午後5時30分開始

2. 開催場所：市川市役所仮本庁舎4階第1・2委員会室

3. 出席者

各地区委員 : 45名

社会福祉協議会：鶴ヶ谷事務局長、山崎事務局次長 ほか

地域支えあい課：杉山課長、飯島主幹 ほか

福祉政策課 : 若菜課長、白井主幹 ほか

4. 議事

(1) 地区推進会議の役割について

(2) 次期地域福祉計画策定について

5. 配布資料

会議次第

委員名簿

資料1 第3期市川市地域福祉計画概要版

資料2 第4期市川市地域福祉計画における主要課題と対応案

資料3 第4期市川市地域福祉計画骨子案

席次表

6. 進行

(1) 課長挨拶

(2) 職員紹介

(3) 事務連絡、配布資料の確認

区 分	内 容
白井主幹	<p>本日はお忙しい中、地区推進会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。本日の進行を担当させていただきます福祉政策課の白井でございます。よろしくお願いいたします。</p>
白井主幹	<p>本日もご出席いただいている委員の方は、お配りした席次表の通りとなります。</p> <p>続きまして、本日出席している職員の紹介をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">(出席者紹介、資料確認)</p>
白井主幹	<p>本日お車で来られた方で、駐車券を事務局に預けていない方は、いまお預けいただければと思いますので、お申出ください。</p>
白井主幹	<p>始まる前にひとつお願いがあります。議事録を作成する都合上、ご発言いただく際は、お近くのハンドマイクをお使いいただき、地区及びお名前をお伝え下さいますようお願いいたします。また、ご発言が終わりましたら、お手数ですがマイクのスイッチをお切り下さいますようお願いいたします。</p> <p>それでは、ただいまから、平成 29 年度第 2 回地区推進会議を開催いたします。</p> <p>まず、課長の若菜よりごあいさつをさせていただきます。</p>
若菜課長	<p>皆さんこんにちは。福祉政策課 若菜です。本日は本年度第 2 回の地区推進会議ということで開催させていただきました。皆さんお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>今回、今年の任期ということで、7 月から新たに 15 名の方が変わられて任を務めていただいていると聞いています。1 年間よろしくお願いいたします。</p> <p>この地区推進会議とは何か、各地域の代表の皆さんに集まっていただき、地区の課題や地域の皆さんの行動、活動といった情報を共有できるところとなればうれしいと思います。</p> <p>また、第 3 期地域福祉計画が策定年度、終了の年を迎えています。30 年からの新たな計画の策定に向けて、地域の皆様方の意見等を伺い、新しい計画に反映できればと考えています。</p> <p>今年 1 年間よろしくお願いいたします。</p>
白井主幹	<p>続きまして、議題 1「地区推進会議の役割について」福祉政策課長若菜よりご説明させていただきます。</p>

若菜課長	<p>議題1の「地区推進会議の役割について」ですが、今回新たに委員になられた方もいますので、はじめに地域福祉計画について概略を説明させていただき、その後、地区推進会議についての説明をさせていただきます。</p> <p>地域福祉計画についてですが、社会福祉法に基づく計画で、計画期間は今回が3期目であり、平成25年度から29年度までの5年間となっていました。それを受けて、平成30年度からの新しい策定に向けて取り組みをさせていただいているところです。</p> <p>資料1 市川市地域福祉計画概要版を見ながら説明させていただきます。</p> <p>(資料1 地区推進会議の役割について 説明)</p>
白井主幹	<p>ただ今の説明について、何かご質問、ご意見等がありましたら挙手にてお願いいたします。</p>
石崎委員	<p>地区推進会議の役割を説明いただきました。私たちは様々な活動をしています。情報を交換するだけではなく、関係各部署と課題をこの場で話し合い、政策的に反映をする、フィードバックする場であると明言していただきたいと思いますが、この会議は、そのような場ではありませんか。</p>
若菜課長	<p>情報共有はもちろん、課題について皆さんと一緒に検討させていただき、関係各課につなげながら、少しでも施策に反映させていければと考えています。</p>
石崎委員	<p>今まで、返しがほとんどなかったもので、その点について担保していただきたいと強く要望します。</p>
白井主幹	<p>ほかに何かありますか。後ほどにも質問の時間を設けていますので、何かありましたらその時をお願いします。次に進めさせていただきます。</p> <p>議題2の「次期地域福祉計画策定について」福祉政策課若菜よりご説明させていただきます。</p>
若菜課長	<p>(資料2、 市川市地域福祉計画における主要課題と対応案 説明) (資料3 市川市地域福祉計画骨子案 説明)</p>
白井主幹	<p>ただ今の説明について、ポイントの説明がありましたが、ポイントを中心に何かご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。</p>

<p>千葉商科大学 和田教授</p>	<p>千葉商科大学の和田です。          前回からオブザーバーとして参加させていただいています。          1点だけ提案させていただきます。          4ページ、地域活動の担い手の部分が一番大きなポイントだと思いま          す。          千葉商科大学は市川市にあります、今まで満足いくような地域貢献が          できていたとは言えないと私は評価しています。私どもの大学だけで          6,000名以上の学生がいます。目の前に和洋女子大学があり、この4月か          ら看護学部がスタートします。大学は毎年新しい学生が入ってきます。そ          して、学生達は卒業した後、民間や行政職として皆様と共に地域を支えて          いく人材になっていきます。地域福祉計画を中長期で考えるうえで、大学          の役割は非常に重要だと思います。          私および学生もオブザーバーとして参加させていただきますので、皆様          からのご提案、行政の具体的な推進の担い手としての部分で役に立ちたい          と思いますので、遠慮なく声を掛けていただきたいと思います。</p>
<p>白井主幹</p>	<p>ありがとうございます。          続きましてご質問等がありましたら挙手でお願いします。</p>
<p>石崎委員</p>	<p>今の説明は少しわかりづらいと思います。私たちは次の4期の計画を作          成するために意見を出していると思いますが、いただいた計画案は、まだ          抜けているところがたくさんあります。目次を見ていただきたいと思います          ますが、1章では策定の背景等が書いてあり、2章はこれまでの成果と          課題になっています。行政の進捗状況が空欄で、その後に12ページから          52ページにわたりアンケート調査結果が表になっており、そこから見た          課題がまとめられています。その先、53ページが主要課題で、アンケー          トから見えてきたものを把握したうえで、これから地域で私たちが何をし          たらいいのか9項目に分けて考えていただいたものが、2、3ページ書い          てありますが、実感がわきません。実際に苦勞をしています、主要課題          に対してこのような事業がありますがご意見はいかがですかと聞かれて          も、他人事のような文章でピンときません。          60ページに全体の計画を達成するために、5つの基本目標を掲げてい          て、その後に18の施策の方向性をきちんと書いていただいています。3          期と4期で多少の変更点がありますが、ほとんど踏襲していただしていま          す。この中で、資料2の4ページの書き方が不満です。65ページ、72ペ          ージとA4で書かれていますが、ページ数ではなく、「施策の方向2 地域          における相談支援・生活支援の充実」と書いていただきたいと思います。そうす          れば、私たちは、普段サロン活動等事業を実施する中で、たくさんの方と          密接にかかわっていますので、それに対して、私たちができることは何か          を考えることができます。相談支援体制の構築ではなく、どのように支え</p>

ていただけるのかが期待されるところで、それに対しての各委員さんからの要望が出るとありがたいと思います。平成 30 年度の新規事業提案中とあり、はっきりわからないと思いますが、私たちに何ができるか、市に対してのこのような支援がほしいという意見を出していただきたいと思います。

72 ページは、施策の方向でいえば、「福祉コミュニティの充実」、その中で地域ケアシステム推進事業と書かれていますが、これについても、「取り組みを推進します」「PRします」ということではなく、どのような支援をしてくれるのかが重要です。お互いさま事業は住民型サービスで実施していこうと思いますが、市がどのように取り組みを支援してくれるのか、まだ不安です。今までは、ほとんど私たち主体で行っていますので、どのように市が支えてくれるのか、わかるような事業概要にいただきたいと思います。それから、「福祉コミュニティの充実」のところに、地域ケアシステムだけでなく、コミュニティワーカー配置事業を入れていただきたいと思います。前回も入っており、今回も事業名は入っています。特に、社会福祉協議会との振り返りシートについて、地区別計画をやめますが、14 地区の事業をしっかりと支えていきます、そのために振り返りシートを利用しますというところまでは分かりましたが、振り返りシートは社会福祉協議会のシートですか。市が実施するコミュニティワーカー事業に沿って市が管理するものになりますか。振り返りシートについての説明と、振り返りシートを含めたコミュニティワーカー配置事業をここに入れていただきたいと思います。

もう 1 つ、60 ページに施策の方向「地域における緊急支援」があります。これは、アンケートからも見られるように、度重なる災害時に、私たちに何ができるか、「避難行動要支援者対策事業」があると思いますが、それもここに入れ込んでいただきたいと思います。

92 ページ、施策の方向でいえば、「地域活動の担い手の確保と育成」ですので、そう記載し、先ほど和田先生から提案された大学の活用についても、事業としてここに入れ込んでいただくと目に見えてきます。単に「研修を実施します」「研修会をします」ではなく、具体的に書いていただきたいと思います。新規事業もありますが、前回、担い手の育成のために実施していただいた事業は大山自治会の研修会だけだったと思います。よかったとは思いますが、あれだけではないのではと思います。私たちは現場で担い手を養成したり、発掘したりすることに四苦八苦しています。そのことについて、市はどのように支援してくれるのか、研修した人を地域につないでくれるのか、が重要なのであって、「研修を実施します」ではないと思います。認知症サロンや防災リーダーなど市民を教育している事業はいろいろありますので、もう少し地域に振り分けるなど具体的に書いていただきたいと思います。

94 ページは、施策の方向でいえば、「地域資源の有効活用」です。地域

	<p>活動団体のマッチングというのは、書けばマッチングですが、実施するのは相当大変です。自分から探して、見つけてきて、繋がっていることが現状です。そこをどう市が応援してくれるのか見えてきません。ほか、ネットワークづくりについても同様です。情報共有についても、使いにくいところがあれば、制度を改善する、使いやすいものにしていくために市がどのように動くべきかわかるようなものにしていただきたいと思います。</p>
若菜課長	<p>内容の表記等について、明確に分かりやすくしてほしいとの要望なので、再度検討していきたいと思います。</p> <p>振り返りシートについては、社会福祉協議会と共有して使わせていただく形になります。</p>
石崎委員	<p>市が責任を持って、振り返りシートを管理するということですか。</p>
若菜課長	<p>毎年事業の実施状況を、シートを使いながら振り返ります。</p>
石崎委員	<p>コミュニティワーカー事業についても、4人いるコミュニティワーカーは、社会福祉協議会の職員なので、社会福祉協議会の仕事になってしまいかねません。事業を実施するのはあくまでも市の福祉政策課だと思いますので、事業の進捗等を管理し、一緒に考えていく姿勢は崩さないでいただきたいと思います。</p>
平野委員	<p>66ページの、「かかりつけ医療を確保する」ということは具体的にどのようなことを考えていますか。法令で、各家庭のホームドクターを明確に決めるところまで行うのかどうか。具体的にそこまで決めないといけないと思います。</p> <p>災害弱者については、個人情報の問題もあり、市の方針に従って実施しなければ、住所や氏名等の情報は教えてもらえません。何年もたっていますが、進んでいません。条例で、災害時のために自治会役員等に情報提供を行うことを義務付けない限り、本当の意味での防災にはなりません。これからの6年間で対策を取っていただかないと困ります。</p> <p>介護保険についても保険料がどんどん上がっています。福祉計画として介護保険料を上げなくてもすむような施策があるはずなので、行政の方で考えていただきたいと思います。新しい福祉計画の中では、介護保険料が現状維持ですむような体制づくりをしてほしいと思います。</p> <p>この骨子案は、総論としては素晴らしいと思いますが、具体的な案を計画の中に入れてほしいと思います。</p>

	<p>もう一つ、福祉公社について、市としてどのように考えているのか、現状のままか、民営化するのか、社会福祉協議会になげかけるのか、方法は多々あると思います。市として公社を作り 18 年経過していますが見直しをしているのでしょうか。もう少し合理化できるのではないかと思います。そのような対策が、介護保険料の値下げにつながるのではないかと思います。</p> <p>それから、54 ページ、自治会加入促進ですが、これから地区別で社協の活動がクローズアップされてくれば、会員数を増やさなければいけないことが非常に大きな問題点になってくると思います。社会福祉協議会の会員の増強についても項目として追加していただきたいと思います。</p> <p>それから、身近な相談支援体制というのは、現在は地域ケアシステムの相談員が社協を中心として実施していますが、市として、電話で簡便に無料相談ができるような形で実施していただければと思います。</p>
若菜課長	<p>66 ページ、役割分担の自助のところでの、かかりつけ医の確保については、ご提案の部分まで行うのは難しいかと思っています。</p>
平野委員	<p>どうして難しいのですか。</p>
杉山課長	<p>地域支えあい課です。いつもお世話になっております。</p> <p>平野委員よりいただいたご意見、施策の方向性 3 地域医療・福祉の充実については、役割としては自助であり、ご自分で努力していただくところになります。かかりつけ医は、いざその時・段階に探すことは非常に難しいと思います。元気なうちから、何でも気軽に相談できるような医者をご自分で探していただくことが重要ですので、市では、その必要性について講演会や研修会を通して啓発、周知をしていくという形になります。</p>
平野委員	<p>自助だから、個人、各家庭に任せればよいとは言えないのではないのでしょうか。強制するとは言わないまでも、もっと強く指導していくことをしなければ、在宅医療に結びつかないと思います。そしてそれでは、介護保険料が増えていくことになってしまいます。それを抑えるためにも、市としてある程度見識を持って、それぞれの家庭にホームドクターを持つように、市全体に広めていくことが必要ではないのでしょうか。</p> <p>介護保険料が上がるばかりです。</p>
若菜課長	<p>自助であっても、行政としては皆さんに、介護保険料の抑制も踏まえたその必要性について、周知を図る必要があるとは感じています。</p> <p>いくつかいただいている質問に答えます。</p> <p>介護保険料の上昇の抑制について、地域福祉計画のほかに高齢者福祉計画、介護保険事業計画があります。その中でもこれに関わる施策等を挙げ</p>

	<p>させていただく予定です。</p> <p>福祉公社の民営化についてもご意見いただきましたが、平成 23 年から一般財団法人になっており、民営化しております。</p> <p>次に、身近な相談ということですが、縦割りになっているところに横串を入れて、連携の強化を図っていきたいと考えています。</p>
山崎委員	<p>77 ページに、施策の方向 8 ボランティア・NPO 活動の推進とありますが、市川市には、ボランティア・NPO 課があります。福祉政策課とどの程度繋がっているのか教えていただきたいと思います。</p>
若菜課長	<p>地域福祉計画の策定にあたり、ボランティア・NPO 課にも計画の文章等を確認してもらっています。</p>
山崎委員	<p>ボランティアに関することはいろいろなところで共助として出てきますので、もし可能であれば、このような会議にも、ボランティア・NPO 課の方にも参加していただければ、社協とのつながりもあるし、良いと思います。</p>
天野委員	<p>市川市ボランティア協会の加盟団体は 60 団体くらいありますが、年々減少しています。会議資料の中にも担い手という課題がありますが、すべてにおいて、担い手、後継者が不足している状態です。縦割りの行政の中で、各所管、各部署様々なところでボランティアという文言が出てきていますが、自治会や諸団体、サークルなどの担い手に対しての行政の後押しは、文言だけで終わっているのが実情だと思います。この会議及び様々な会議の中で、担い手を作る、担い手を探すためにご意見をいただければと思いますし、行政のほうでも本腰を入れて担い手を育成していただけるような施策を作っていただければ、これから未来にかけて市川市の福祉、ボランティア団体の後押しになると思います。求めている様々な人たちがいますので、よろしくお願いします。</p> <p>加盟団体は、4、5 年で 10 団体くらい減少しています。後継者がいないので解散する、活動する場所の料金がかかるので活動できず解散する、という課題が非常に多いと思います。</p>
白井主幹	<p>ほかに何かご意見はありますか。</p>
石崎委員	<p>今の意見は、ボランティア・NPO 課のことではないですか。</p>
若菜課長	<p>先ほどの山崎委員のご意見は、ボランティア・NPO 課に参加してもらえないかというご意見だと思います。今後の地区推進会議では、議題に応じて臨機応変に、関係課の出席について積極的に交渉していきたく思います。</p>



<p>程塚委員</p>	<p>す。</p> <p>南行徳地区の程塚と申します。14 地区のうち、南行徳は非常に大きなエリアで昨年より 15 番目の拠点ことができました。</p> <p>この案を見ますと、旧態依然として毎回同じことが書かれており、一歩進んだことが見えて来ません。「支援体制を作ります」「研修をします」と十何年もしていることが、なぜまだ書かれているのかと感じます。</p> <p>介護予防、生活支援サービス事業でボランティアに対する経費が出ていることは新しいことだと感じます。</p> <p>課題に対して、2 期目、3 期目、4 期目になって具体化していかなければいけないのではないかと思います。私たちのところの担い手は、週 7 日活動しています。1 ヶ月に 1 日しか休みはありません。昨年の 6 月から始め、今年の 4 月から自主管理となりました。非常にウェイトも高いのですが、皆さんがんばってくれています。それは、自分の地域をよくしたいという思いが根本にあるからです。塩浜地区は高齢化率が非常に高いところで、それを皆さんが感じています。そうした中で、いろいろな意見が出て、すぐにできないかもしれませんが、気持ちはあります。こうした活動に対して行政はどのように支援してくれるのか、見えるような形で具体的に出てくるといいと思います。</p>
<p>若菜課長</p>	<p>計画では、まだ確定していない実施予定段階の事業を記載している部分もあり、具体的な部分までは至らないところが多々あると思います。逆に、程塚委員の地域は地域活動が活発に行われているということで、どのような活動をされているのかお聞きしたいと思います。</p>
<p>程塚委員</p>	<p>私たちのところは、体育館を使用していた団体グループと協働しながら、その場所でふれあいサロンをいくつか事業展開させてもらっています。その横で、サロン等に参加できない人たちにもお茶を出して買い物ついでに寄ってもらったりして、積極的に声かけをしています。それは、非常に難しいことですが、一人ずつでも増やしていこうとしています。毎日来てくれる人もいて、そうした人をつなげていくことが、地域の活性化につながるのではないかと考えています。ですが、私たちも暗中模索で、毎月会議を行っています。会議には、地域支えあい課や社協の方にも参加していただき、いろいろアドバイスをいただいています。UR や保健センターの方にも参加していただいています。まず知っていただくことが大事だと思います。</p> <p>私たちは、必要性から活動しています。それをどうフォローしていただけるかだと思います。行政は均一にしなければいけない部分もあると思います。しかし、地区割りを見ればわかるように、とても広い地区を担っています。そうしたこともあり、今回申請し、初めて条例ができ、拠点を作</p>

	<p>らせていただき、感謝しています。どのように拠点を活用するか、皆さんに意見を聞きながら活動しています。</p>
若菜課長	<p>お金や何かを直接施策で行うものではありませんが、地域支えあい課の職員が、地域の皆さんと一緒に寄り添いながら活動していくということも一つの支援であると思います。</p>
程塚委員	<p>表現はすごく大事だと思います。ニュアンスを私たちが感じられるような文章にしていただけたらと思います。</p>
平野委員	<p>76 ページの公助の部分ですが、市川市には急斜面の崩落危険地域がかなりあるはずです。地域福祉計画の中に入れるべきかどうかは市で検討していただきたいと思いますが、公助のところに、急斜面崩落危険地域の対策を入れていただければ、地域住民にとっては非常に安心できると思います。県から指定されているところがあるので、具体的に6年間の間に何らかの施策をする体制に持って行っていただければと思います。</p>
白井主幹	<p>ほかにありましたらお願いいたします。</p>
齊藤委員	<p>54 ページの地域住民同士の交流促進というテーマですが、「顔の見える関係づくり」という表現があります。行徳地区のボランティア仲間 20 名余りで、4 年前から大規模災害に備えて、顔の見えるいい関係を作ろうと活動していますが、大切なことは2つあると思います。</p> <p>まずは、顔が見えて終わってしまうことを避けるため、どのように連絡体制をとるかです。いざというときは、Eメールが有効になるので、連絡網をどのように作るかが非常に大事だと思います。</p> <p>もうひとつは、関心を持ってもらうためのメニューを持たないと、途中でマンネリ化してしまいます。我々は、避難所を想定した缶詰などの非常食で賞味期限が切れ間近のもので試食会を実施しています。これは、全員参加型で評判がよかったです。</p> <p>一つの例ですが、具体的な活動をイメージできるような表現になると、より良い計画になるのではないかと思います。</p>
白井主幹	<p>ほかにご意見はありますか。</p>
矢島委員	<p>腕章や襷などによりPRをするのもいいと思います。</p>
若菜課長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ほかにありましたらお願いします。</p> <p>程塚委員のように皆さんが実施している活動などのご意見でも結構で</p>

	<p>す。計画などのご質問、ご意見もいただきたいですが、PRしたいことがあれば発表していただければと思います。いかがですか。</p>
<p>平野委員</p>	<p>保育園についてです。市で運営している保育園がありますが、募集をかけているということで自治会の掲示板に貼っていますが、保育士の有資格者が足りないということですか。それに対する対策をこれからの6年間で行わなければならないのではないかと思います。東京都は保育士の給料を上げていますが、そちらに流れていることはないでしょうか。そのようなことを調べたうえで、何らかの対策をしていき、市で実施している保育園についても、もう少し拡大、拡張していくことも将来的に考えるべきではないかと思います。</p>
<p>日光委員</p>	<p>計画の主要課題に、地域ケアシステムのPRがありますが、地域ケアシステムという名称がよく分かりません。愛称を募集したり、公募したりする形で皆さんに考えてもらうことも一つのアイデアではないかと思います。</p>
<p>白井主幹</p>	<p>ほかにありますか。</p>
<p>歌代委員</p>	<p>この会議は少し大きすぎるのではないかと思います。地域で会議を行っていますので、そこに行政は参加し、意見を吸い上げるということをすれば、もっとスムーズに会議が進むと思います。それが必要だと思います。</p>
<p>程塚委員</p>	<p>私たちの拠点は後発なので、以前から活動しているところと意見交流ができれば、もっと良い形、拠点の活性化につながるのではないかと思います。</p> <p>地域ケアシステムに愛称をとというご意見ですが、アンケートを見てもまだまだ知名度はないと思います。PRの仕方がキーになると思います。</p>
<p>松藤委員</p>	<p>具体的な活動と、それに関する課題を報告します。地区で大きな事業として、ふれあい会食会を実施してきました。ところが、会食会をする場所がなくなってしまい、できなくなってしまいました。以前は、市民会館で食事ができました。地域の独居高齢者を集めて会食会をし、催しなどを楽しんでもらいながら、交流を図っていましたが、新しい八幡市民会館は、食事が禁止されています。食事ができて大人数が入れるような公共施設は本当にありません。一つの大きな課題としてどうしたらいいか悩んでいます。今回は、食事はしないけれど、ホールで皆さんが楽しめるような方向で考えていこうと模索しています。ふれあい会食会としては、敬老の日に自治会単位の小さな規模で実施しようと考えています。昨年からはじめましたが、今年は参加人数が減少しました。アンケートを実施しましたが、理</p>

由としては、80歳以上となると、そこに行くにも自分の力では大変になってしまうということです。現在は、送迎があれば参加できるかと呼び掛けているところです。その時に出てくる意見として事故があった場合の対処についてだと思いますが、解決策がない状態です。行政としては、どのように考えられるか、課題だと思います。

もう一つ、自治会で活動しているものとしては、自治会役員と民生委員、高齢者サポートセンターの方が、年3回くらい家庭訪問をしています。80歳以上の方、70歳以上の独居の方、障害者を抱えている家庭に個別に回り、地域ケアカードを作っています。これには、非常に細かな個人情報が記載されていますが、了解を得てサインもしてもらっています。

訪問するたびに書き足していきます。何かあったときには、そのカードに記載している緊急連絡先に自治会が連絡することができます。

行政からは、個人情報はもらえませんが、自分たちが訪問し聞いてくる分にはいいのではないのでしょうか。アンケートにもあるように、個人情報を出してもいいと言ってくれる方も結構いますし、実際に訪問すると、カードの作成に関して、了承の署名をしてくれます。

地域ケアシステムでは、2ヶ月に1回くらい、行政の方、社協の方を含めて会議をし、話し合っています。高齢者の方々の要望に対しどうしているか、またそれを聞く体制、例えば事務局を作るならば誰がやるのか、電話はどうするのか、なども課題の一つとして、なかなか解決できませんが、話し合いをしています。

埴委員

地域ケアシステムについて疑問があります。私たち八幡地区は、中央公民館の狭いスペースを借りてケアをしています。社協の事業として、車いすの貸し出しなどしていますが、車いすで中央公民館には入れません。何年前にボランティアで傾斜をつける話をしたら、市役所の職員が、傾斜角が何度、幅がどうと細かいことを言われたので、市役所のほうに任せたら何年もそのままです。今からでも、許可があれば傾斜をボランティアでつけます。これは市役所で解決していただければと思います。

若菜課長

関係各課に確認したいと思います。

白井主幹

ほかにありますか。

なければ次に進めさせていただきます。

最後に、議題3の「今後の予定」です。次期地域福祉計画策定について、いただいたご意見につきましては、計画への反映を福祉部で検討させていただきます。そして、11月頃に開催を予定している次回の地区推進会議で計画案としてお示しし、再度ご意見をいただきたいと考えています。

何かご質問等がありましたら、お願いいたします。

今日の議題はすべて終了とさせていただきます。

お車でお越しになられた方で、本施設の駐車券を事務局に預けている方がいらっしゃいましたら、後ほど、事務局までお声かけください。